

## 自動販売機の規格及び条件並びに遵守事項

### 1 自動販売機の規格及び条件

#### (1) 大きさ及びデザイン

##### ① 大きさ

貸付面積の範囲内とし、高さは2.00m以内のものとする。(放熱余地、台座、回収ボックス設置部分を含まない。)

##### ② デザイン

周辺環境に配慮した外観色とし、グレー又はホワイトなどの単色で公共機関にふさわしいものとする。

#### (2) 環境対策

##### ① 省エネルギー

「照明の自動点滅・減光」、いわゆる「学習省エネ」及びピークカット並びに、「真空断熱材やヒートポンプ採用」など、消費電力量の低減に資する技術等を導入した機種とする。

##### ② フロン対策

二酸化炭素又は、炭化水素を冷媒として採用した機種とする。ただし、カップ式自動販売機、紙パック自動販売機については、いわゆる「代替フロン(地球温暖化対策の推進に関する法律による)」を認める。

### 2 遵守事項

#### (1) 安全対策

##### ① 転倒防止

「自動販売機の据付基準」(JIS規格)及び「自動販売機据付基準マニュアル」(日本自動販売機工業会作成)を遵守した措置を講じるものとする。

##### ② 食品衛生

「食品、添加物等の規格基準」(食品衛生法)及び「自動販売機の食品衛生に関する自主的取扱要領」(業界自主基準)等を遵守し、販売商品の衛生管理に万全を尽くすものとする。また、商品販売に必要な営業許可を受けなければならない。

##### ③ 防犯

硬貨選別装置及び紙幣識別装置により、偽造通貨又は偽造紙幣の使用による犯罪の防止に万全を尽くすものとする。また、室内設置であっても「自販機堅牢化基準」(日

本自動販売機工業会作成)を遵守し、犯罪防止に努めるものとする。

(2) 使用済み容器の回収

① 回収ボックスの設置

原則として自動販売機 1 台に 1 個の割合で自動販売機脇に設置する。

② 回収ボックスの規格

素材：プラスチック製または金属製とする。

容積：回収頻度と回収量を考慮し、回収ボックスから空き缶等の使用済み容器が溢れたり、周囲に散乱したりしないよう、十分な収容容積をもったものとする。

その他：使用済み容器以外の投入を禁止する旨の表示をするほか、使用済み容器投入口は、紙等の一般ごみが入りにくい形状を有するか、そのための仕掛けがあるものとし、使用済み容器と一般ごみの混入防止を図る。

③ 使用済み容器の処理

容器包装リサイクル法(平成 7 年法律第 1 1 2 号)など、関係法令に基づいて適切に回収し、処理する。

(3) 自動販売機の設置及び管理運営

① 設置者において、商品の補充及び変更、消費期限の確認、売上金の回収及び釣り銭の補充並びに自動販売機内部・外部及び設置場所周辺の清掃などを行う。

② 設置者において、消費期限の確認など、安定した高品質の商品を提供するための品質保証活動を行う。

③ 設置者において、専門技術サービス員による保守業務を随時行って維持に努めるほか、故障時には即時対応する。

④ 日常管理を行う管理者の連絡先(管理者名、住所、電話番号)の記載のあるステッカー(縦 5 cm 以上×横 1 4 cm 以上)を硬貨等投入口周辺の見やすい位置に貼付する。

3 販売商品の種類等

(1) 種類

酒類を除く飲料とする。

(2) 価格

市販価格(定価)から 1 0 円以上割り引いた価格とする。

4 その他

自動販売機設置事業者募集要項に基づき提出した自動販売機設置に係る提案書に記載した提案内容を実行する。